

令和8年シラス曳網調査結果 (第7報)

令和8年6月29日
福島県水産海洋研究センター

1 調査日

6月25日

2 調査海域

相馬海域

37-48N 線上 141-00E(水深9m)、141-05E(水深31m)

141-10E(水深38m)、141-15E(水深55m)

3 調査手法

調査指導船拓水、中層トロール網(魚捕部の目合い1mm)

水深10m付近(一番灘の定点は表層)を10分間曳網(船速約2kt)

4 調査結果

(1)表面水温(図1)

18.5°C~20.3°C

(2)シラス採捕数(図1)

1 定点あたり 26~109尾 (合計 250尾)

今回のシラス採集数は前回調査時(0~4尾、合計7尾)と比較し、増加しました。また、141-10E、141-15E でクラゲが入網しました。

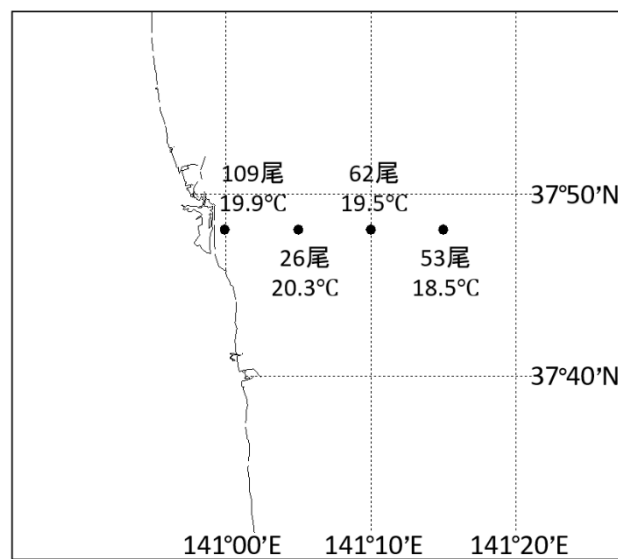


図1 カタクチイワシシラス採捕数

(3)シラス全長(図 2)

全長範囲：4.8～34.9mm

すべての定点で全長 8mm 前後の群のシラスが採集されました。

141-00E では全長 30mm 前後のシラスが数尾採集されました。

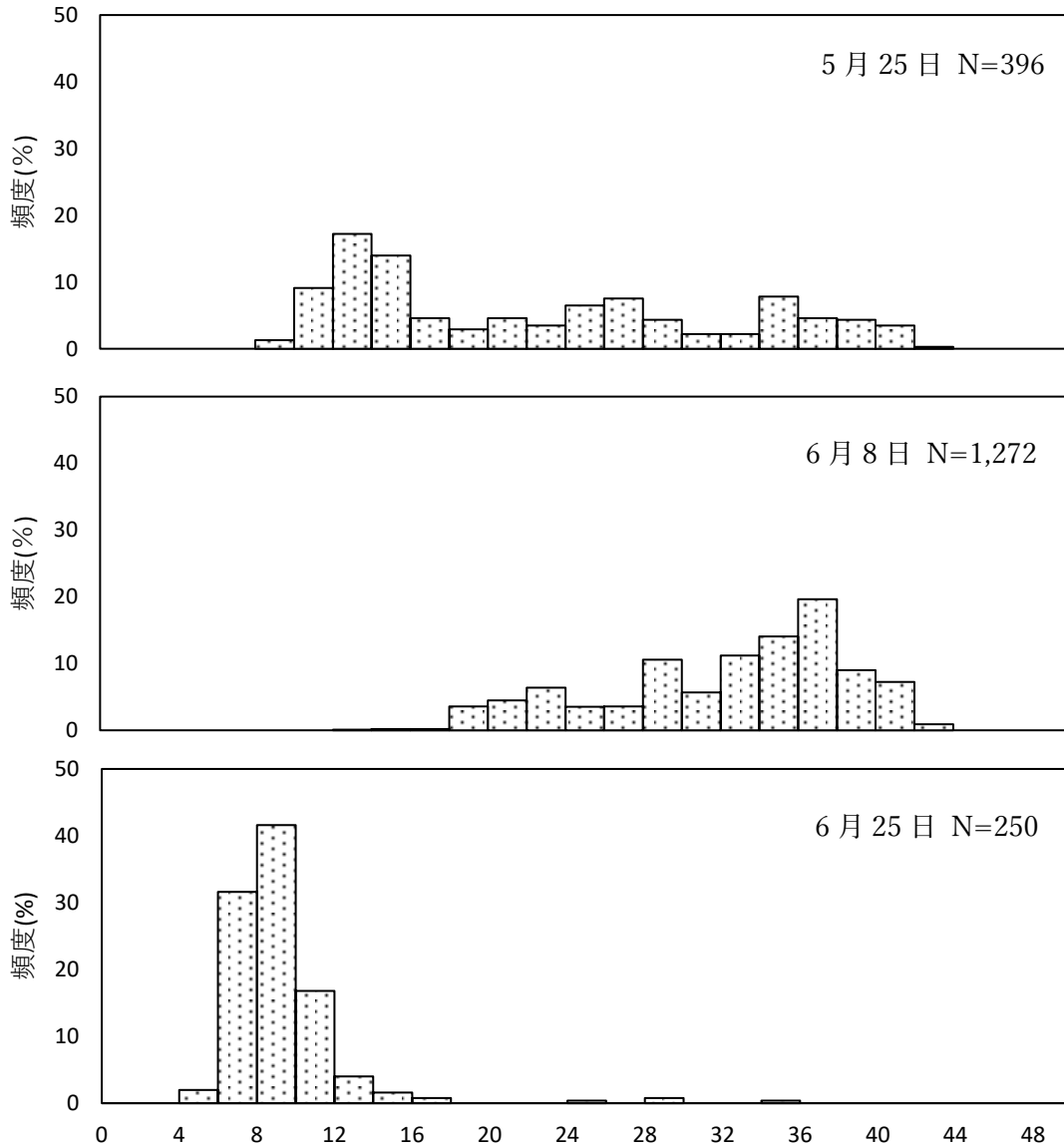


図 2 カタクチイワシシラスの全長組成

(4)過去の調査結果との比較(図3、4)

令和8年6月の1定点あたりのシラス採捕数は127.4尾/定点で、平成18年以降で6番目に多い結果となりました(図3)。なお、福島県の年別シラス漁獲量を図4に示します。今漁期はいわき地区では5月7日より漁が行われています。

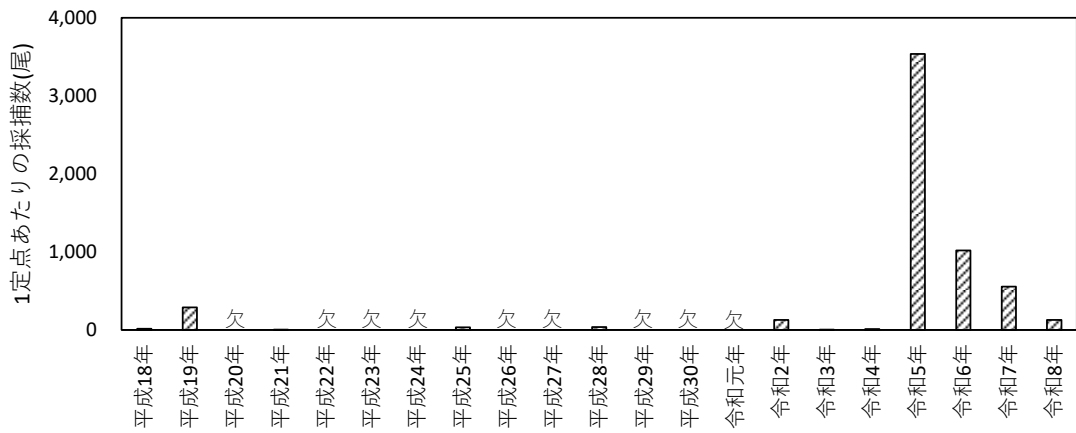


図3 相馬海域における6月の1定点あたりの採捕数

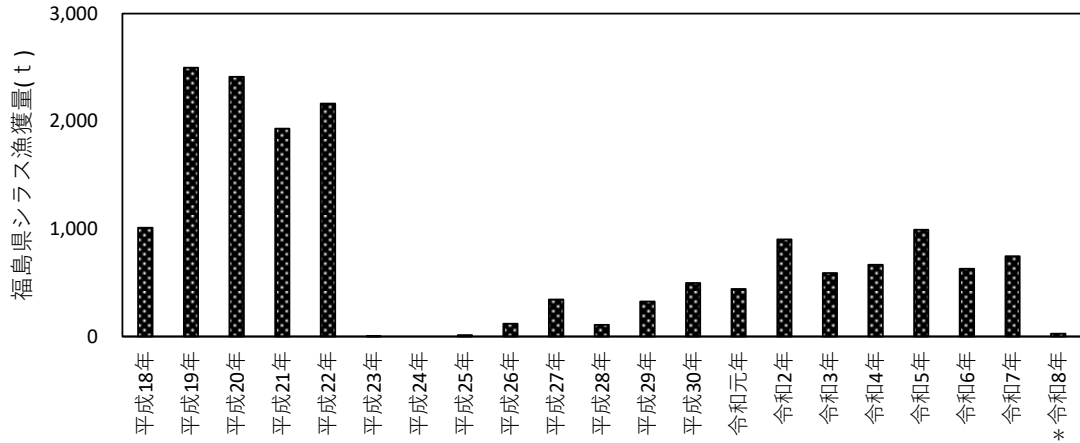


図4 福島県の年別シラス漁獲量

* 令和8年は5月までの速報値